

喜多方市観光振興ビジョン見直しの概要

【目的】 総合計画の見直しと新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の影響等を踏まえ、必要な見直しを行った。

【視点】 社会情勢の変化や総合計画の評価・見直しと一体的に進めていくため、総合計画で見直した施策の内容について、観光客の動向や、コロナの影響による様々な変化等を踏まえ、滞在期間の延伸と観光消費額単価の向上を最大の課題に掲げ、本市観光の目指す姿の実現に向けた施策の方向性について見直した。

第1章 総論

- 趣旨 総合計画やコロナの影響等により、ビジョンの見直しを行う趣旨や背景を記載
- 位置付け 関連する国や県、市の計画と整合を図るため、各種計画の策定状況を更新
- 計画期間 2021(令和3)年度～2026(令和8)年度(6年間) <変更なし>
総合計画の見直し、社会情勢の変化や観光振興をめぐる環境変化に応じて必要な見直しを行う

第2章 本市観光の現状と課題

1 国・県の動向

- コロナによる影響を踏まえた近年の動向に見直し
- 主要な指標を2022年(令和4年)まで更新
- コロナの影響が緩和された2023年(令和5年)の傾向まで記載

2 本市観光の現状

- コロナによる影響を踏まえた近年の現状に見直し
- 主要な指標を2022年(令和4年)まで更新
- コロナの影響が緩和された2023年(令和5年)の観光の傾向、コロナの影響や生活の変化、コロナ禍において実施してきた施策を新たに記載

3 アンケート調査等の結果

- 2022年度(令和4年度)観光動向及び消費額調査の結果に更新
- コロナ禍における市内事業者アンケートを記載
- 懇話会で出された「コロナの影響」や「求められる施策」について、主な意見を記載

4 現状から見える本市観光の課題

- アンケート調査結果をもとに「強み」「弱み」を改めて整理
- コロナの影響緩和やインバウンド観光の推進、情報発信力の強化等を記載
- 8つの課題を7つに整理・統合、求められる施策を見直し

第3章 本市観光の目指す姿(将来像)

地域の資源(たから)が生きる、
出会いと発見・感動あふれる観光のまち喜多方

<変更なし>

第4章 観光振興の基本方針

- 本市観光の目指す姿(将来像)を実現するため、5つの施策の柱ごとに施策の方向性を見直し
- 施策の方向性は大きく変更していないが、今後更に推進していく施策を強調
- 指標について、基本的に目標値は変更せず、現状値(令和4年度)を追記
- 外国人観光客の指標は、総合計画と整合を図り、目標値を3,900人から8,000人に修正

【施策の柱1】 地域特性を生かした観光の魅力づくり ～ 豊富な資源を生かし・磨き上げ・魅力を創出 ～

【課題1】 滞在時間の短い観光から宿泊につながる滞在型・着地型観光へ
【課題2】 地域特性を生かした新しい観光の魅力づくりによる交流人口の拡大

【見直しによる取組のポイント】

- 観光動向調査等の結果を踏まえ、ラーメンやそば、蔵のまち並み、四季を彩る花々などを目的に訪れる方の更なる周遊促進を図る。
- コロナ禍を経て変化したニーズに対応した観光誘客イベントへ発展できるよう、引き続き取り組み・支援する。

【施策の柱2】 誘客宣伝活動の推進と受入体制の充実 ～ 誰もが「行ってみたい」まちづくり ～

【課題3】 各種メディアを活用した更なる情報発信の強化
【課題4】 誰もが「行ってみたい」と思える観光受入体制の整備・充実

【見直しによる取組のポイント】

- 観光動向調査等の結果を踏まえ、SNSを最大限に活用し、ターゲットを明確にした適切な手法による情報発信を強化する。
- 更なる誘客につながる戦略的なプロモーションに取り組む。

【施策の柱3】 広域観光と外国人観光客の誘客推進 ～ 広域的・多角的な視点による観光誘客 ～

【課題5】 広域観光による魅力ある観光エリアづくりと外国人観光客の誘客

【見直しによる取組のポイント】

- 近隣市町村等と連携した広域観光による観光誘客に取り組む。
- 外国人観光客の誘客を強く推進するとともに、外国人観光客受入体制の整備を支援する。

【施策の柱4】 グリーン・ツーリズムの推進 ～ 極上の田舎を生かした都市農山村交流 ～

【課題6】 教育旅行における風評払しょくと田園回帰による交流人口の拡大

【見直しによる取組のポイント】

- 喜多方観光物産協会グリーン・ツーリズムサポートセンターと連携を強化した教育旅行の誘致に取り組む。
- 農業体験の他、SDGsやカーボンニュートラルなどの考えに触れ、学べる探求型学習メニューを充実する。
- ワーケーションやサテライトオフィスなど、新しい働き方を通じた交流人口の拡大を促進する。

【施策の柱5】 物産の振興 ～ 優れた地場産品を最大限に生かす ～

【課題7】 ラーメンやそばの知名度の更なる向上と、足腰の強い物産の振興

【見直しによる取組のポイント】

- 記念日登録やGIなどの各種制度を活用するなど、知名度の更なる向上とブランド化を推進する。
- 足腰の強い物産事業者の育成・確保に取り組む。
- 観光消費額単価の向上に資する「売れる商品」開発を支援する。